

若年妊娠とジェンダー格差を予防する教育支援事業 (2021年～2023年)



教育支援を通じた雇用創出とジェンダー平等

■ 実施団体：
特定非営利活動法人Class for Everyone

■ 対象国・地域：
タンザニア国タンガ州コログウェ県
■ 現地カウンターパート

New Rural Children Foundation
(NRCF)



■ 協力内容：
・現地小学校で思春期教育（性教育）プログラムが実施できるような環境を整備する
・学校以外のコミュニティにおいてジェンダーフリー教育プログラムをカウンターパート機関主体で実施可能な状況を整える
・現地カウンターパートと現地行政機関との定期的な話し合いが行われる環境を構築し、連携を強化する。

■ 団体のこれまでの取り組み：
・タンザニアの農村において移動図書館を活用した思春期教育事業
・タンザニアの非電化地域の学校で電気を作る環境教育事業
・フィリピンのスラム街でICT教育施設の運営事業

■ 事業実施の背景：
・タンザニアでは約30%程度の少女が19歳までに妊娠・出産を経験し、若年妊娠による退学者数は数千人に昇るといった報告もある。それらの女性達は家事労働・農耕以外の仕事に就く機会を得ることも難しく、貧困や社会的孤立につながるケースが多い。性教育そのものの不足が課題としてある。

タンザニア国の課題と成果

- 課題①** 学校における性教育そのものの不足（教材が存在しない）、性教育を指導できる教員の不足
- 成果①** 教材を有効に使いながら学校の教員のみで授業ができるようになるのみならず、学校独自の工夫を入れながら性教育を進めて行けるようになった
- 課題②** 課題解決のための現地カウンターパート機関と現地行政機関との協力関係の不足
- 成果②** 若年妊娠による退学者の減少を目的として、現地関係省庁との問題意識の共有および協力関係の構築が達成できた。

事業の波及効果



タンザニアの他アクターとの協力の促進！

- ・タンザニアの他地域で生理用ナプキンの製造販売を行うローカル企業とコラボを実施したり、タンガ州以外の学校に性教育教材を使ってもらったりと、新たな連携を実現することができた。